

長門市未来農業創造協議会（山口県長門市）

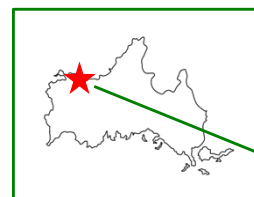
R3補正
R4当初

43

背景・課題

長門市の中核産業を支える基盤産業である第1次産業は、60歳以上の就業割合が76%と高齢化が著しく、将来の担い手不足による生産性の低下や事業承継が課題として挙げられる。このため、棚田指定地域をはじめ、環境に配慮した取組をしていたが、平成29年には「第2次長門市総合計画」において「地場産業が活躍する活力あるまち」の実現に向け農業振興の具体的な施策のひとつに有機農業の推進を掲げ、有機農業の一層の推進を図ってきた。

また、令和3年4月には、楽天農業株式会社と農業に係る連携協定を締結し、これまでの一部のみでの取組だった有機農業を拡大し、国際水準の有機農業の持続的な産業基盤につながる体制の構築や、有機農産物の消費拡大や食育を推進している。



長門市

構 成 員

長門市経済観光部、山口県農業協同組合長門統括本部、深川養鶏農業協同組合、長門大津地区農業法人連絡協議会、山口県長門農林水産事務所

品 目

野菜

成果目標と達成状況

○有機JAS面積の拡大（露地野菜）（R3：0ha ⇒ R4実績：0ha → R9：2ha）

※有機JAS認証取得に向け栽培実証中

取組の成果

- ①生産：ブロッコリーの育苗体系（秋期・冬期）の実証を行い、ほ場を借り上げ栽培実証を行った。
- ②消費：有機の冷凍カット野菜（指定事業者が生産）を市内の小中学校の給食に3回導入した。
「オーガニック・キックオフフォーラムinながと」を開催し、市民に対し有機農業の啓発を行った。



ブロッコリーの育苗体系の実証



オーガニック・キックオフフォーラム in ながと

普及に向けた取組

生産に係る取組については、引き続き、有機野菜苗の栽培実証等を通じて、露地野菜を中心とした栽培面積の拡大を進める。

また、消費に係る取組については、学校給食を通じた取組を進めるとともに、各種イベント等を通じた啓発活動を推進する。

問い合わせ先

長門市未来農業創造協議会（長門市農林水産課内）

TEL：0837-23-1235